

・温かみのある学級づくり

(6)「学校に行くのは楽しいと思う。」生徒C+D9.7P 54名→A+B100%を目指す。

(11)「いじめられたり、無視されることなく安心して活動できている。」生徒C+D4.7P 26名→0名を目指す。

・満足感のある授業

(2)「授業はわかりやすいと思う。」生徒C+D6.8P →自分の教科はどうなのか。

(3)「授業では、自分の考えを持ち、自ら取り組んでいる。」生徒C+D12.6P 70名→授業改善を進める。

(4)「授業では、自分で考えたことやわかったことを表現することができている。」生徒C+D12.7P 70名→授業改善を進める。

・学校行事や部活動等の活動の充実

(7)「学校や学年の行事に関心を持ち、進んで取り組んでいる。」生徒A+B92.4P →A+B100%を目指す。

(8)「部活動に目標を持ち、積極的に取り組んでいる。」生徒A+B92.6P →A+B100%を目指す。

項目	<分析> ○成果、▲課題	<改善策> □後期(継続・改善)、■来年(発展・変更)
学習・研究	▲ 研究主題の重点項目②「振り返り活動」の強化・充実を図ることが必要である。 「授業の振り返りや適用問題に取り組む時間を設けて、理解度を確認することができた」 A評価31%	□ ①生徒が学んだことを自分事としてとらえ、ふりかえる。 ②自己決定や自己表現をする必然性のある課題設定。 ③GIGA端末やデジタルノートブックの活用。 ④ペアやグループ活動を効果的に活用する。 ⑤教科部会での取組、共通認識の強化。 ①～⑤を意識して授業づくりをし、それを全体で共有する機会を増やす。
	○ 学習コンテストは低学力生徒も前向きに取り組む、結果にも結び付いている。	□ 継続する上で、合格・満点を狙いやすくし、達成感につながるテストであることを大切にしていく。
	▲ 低学力の生徒に対する学習指導の在り方を考えていく必要がある。	□ ①ワークの取り組み方の指導(ページの指定など) ②eライブラリの活用方法を考えていく ③やればできる生徒には学力補充、やっても厳しい生徒には「やり遂げる力」を充実というすみわけを学年間で共通理解していく。 ④ワーク等のお残りを実施する際に、単に勉強をさせる、叱責するのではなく、勉強の仕方へのアドバイス、悩みを聞くなどして、個に応じた指導に当たっていく。
	○ ・ワークなどをテスト前だけでなく、普段から自主課題として取り組ませたのは良かった。 ・居残り教室をテスト前に行うことが良かった。	□ 継続していく。
	▲ ・3年間を見通しての進路指導計画が必要	□ 昨年度に比べ、共有できているが、まだ全体に示せていないので、データだけでなく紙でも残していく。
	▲ ・生徒がどんなジャンルの本を借りているのか、簡単に知りたい。	□ 図書システムから個人ごとの読書記録や分類ごとの貸し出し統計も抽出できる。個人の読書ジャンルについてはプライバシーへの配慮が必要。
	▲ ・朝読書で読む本のレベルを上げるために、『クラスの友だちのおすすめの本特集』などの企画があってもよいのでは。	□ 後期の図書委員会で検討してみたい。レベルアップさせるには、朝読書の時間にこの分野の本を読む(日程を区切って)と限定読みをさせてみることもよい。
特別活動	○ 清掃時間を変更したが、大きな問題なく生徒は活動に取り組んでいる。	□ 現在の状況を継続して取り組んでいく。
	▲ 教室環境が行き届いていない。	■ 職員だけでなく、生徒が自らチェックし合うシステムを作る
	▲ Teamsでの集会の時、教室で見ている学年が「参加している感」を持てる工夫。	■ 特活職員で意見を出し合い、より充実した集会になるように努めたい。
	○ フードバンク、学年レクリエーションなど、良い取組はぜひ継続してほしい。	□ 単発で終わることなく、長く継続的にできる方法を模索していきたい。
▲ 生徒が自ら立案し、それを実行する過程を先生がサポートする活動もできたらいい。	□ 全体の企画の量を減らし、見直しを持って時間に余裕を持つことで生徒の話し合いの時間を確保することはできると考える。各委員会の自由な裁量で実施できるといい。	
生徒指導	規範意識	
	○ ルールやマナーについての規範意識は良好。	□ 日頃の取り組みによるところが多いので、継続していく。
	▲ 頭髪や身なりの基準について、見直すことも必要なのではないか。	■ 本年度も一部見直しをしたが、今後も高校の状況や他校との連絡も含め、検討していく
	○ いじめがダメだという雰囲気は浸透しており、嫌がらせについても早めの発見ができています。	□ アンケートの継続とデイレイフなどでも様子を見ていく。
	▲ 不登校数は多い。改善の兆しが見られない生徒も多く、新規の不登校傾向もみられる。	□ 担任が一人で抱え込まず、複数での家庭訪問や懇談など生徒、保護者と関わる職員を増やしていく。相談係会での検討内容を各学年にフィードバックしながら、焦点を絞って検討していく。
	安全指導	
▲ 安全に対するアンケート結果は良好な数値が出ているが、危険な走行やルール違反も見られる。	□ 安全運転に対する指導を継続していく。生徒指導だよりやお知らせなどを朝礼や終礼で担任が丁寧に話をしていくことが大切。	
生徒理解		
▲ 担任は少ない時間をやりくりしながらでも生徒理解を進めている。懇談時間の確保や懇談場所の工夫など、ハード面での充実が必要。	□ 1学期は、どうしても懇談時間の設定が難しい。2学期以降は、懇談時間を確保してもらう。	

1年	○ 授業のルールに対する意識は肯定的な回答が92.5%を占める。ただし、そのうち「よくあてはまる」は32%である。	□ できていることを評価しつつ、気になることを見逃さない指導を続けていく。
	▲ 「家庭学習の習慣」については「よくあてはまる」の回答が31.6%と低い。	□ ワーク類を含む自主学習の取り組みを継続し、自分にとって必要な学習を自分で考えて決める力を育てる。
	○ 「学校や学年の行事に関心を持ち、進んで取り組んでいる」に対し、93.6%が肯定的に回答している。ただし、「よくあてはまる」は36.4%である。	□ まだまだ中学校の行事や活動については見て学ぶ段階。先輩の姿から中学校での自治活動について理解し、学年のリーダーを活躍させながら、各自が存在感を感じられるような取り組みを進める。
	▲ 「いじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できている」「自分の周りにいじめやからかいがあったときには、どのように（誰に）知らせればよいか知っている」について「よくあてはまる」という回答が上の学年に	□ デイリーライフの記述や生徒の様子に目を配り、教員間の情報共有を密にして、丁寧に対応する。
	○ 「学校に行くのが楽しいと思う」に対し、肯定的な回答が88.2%と高い。ただし「よくあてはまる」はその中の約半	□
○ 多くの質問に対して80~99%が肯定的な回答をしている	□	
▲ 「よくあてはまる」という回答は全体的に低い傾向があり、積極的に自分から、という姿勢が弱い。	□ 受け身の姿勢で学校生活を送っている生徒が多いと思われる。一人ひとりの生徒のよいところ頑張っているところを認め、ほめることを通して、自己肯定感を高めていく。また、安心して自分の意見が言える人間関係づくりをする。そのために、生徒理解に努め、情報共有しながら支援する。	
2年	○ 授業のルールに対する意識は、肯定的な回答が98%と安定している。授業には落ち着いて取り組んでいるが、積極的、主体的という姿勢には至っていない。	
	▲ 「授業では…自ら取り組んでいる」「授業では…自分で考えたことやわかったことを表現することができている」という問いに対しても「よくあてはまる」の回答がそれぞれ3.9%から2.9%、3.4%から3.0%へと、減っている。	□ 授業中の発言も声が小さいので、人前で話すことの訓練をしていく。また、小グループやペアの中で考えを述べ合える場面を設定する。
	▲ 「学校や学年の行事に関心を持ち、進んで取り組んでいる」は肯定的な回答が多いが、「生徒会・委員会活動に関心を持ち、進んで取り組んでいる」は肯定的な回答が71%と意識が薄い。	□ 前期はH代表者会の企画による活動を推進し、実行のための時間を確保してきた。後期からは生徒会の役員は自分たちの代表であること、それぞれの活動が係だけではなく、学年全体の活動となるように呼びかけを行っていく。
	○ 「いじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できている。どのクラスも安心して安全に生活ができている」と考えられる。	□ アサーションを取り入れ、人間関係づくりに取り組んできた。今後も継続して生徒の様子を見ていく。気になることやいじめが発生した場合、個々の生徒の事情をよく聞いて対応
	▲ 部活動に対する取り組みについては積極的にできない生徒が増えてきている。	□ 部活動に参加しなくなったり、休んだりする生徒の理由は様々であるが、2年生中心に活動が盛んになっていく反面ついていけなくなってしまう。個別に対応し、声掛けし生徒に任せ、生徒自身が判断し行動する場面を増やしていくようにする。成功は大きく評価し、失敗は原因を考えさせ、それを明らかにして、次の活動につながるように、学年全教員で生徒理解に努め、情報共有しながら支援する。
○ 「学校に行くのが楽しいと思う」に対し、肯定的な回答が92%と高い。	□	
3年	○ 「授業ルールを意識し、意欲的に授業に参加している」という問いに関して、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という回答が8.5%から4.8%に減少した。進路のことなども意識するようになり、ルールだけでなく意欲の面でも良好になってきていると思われる。	□ 授業の課題を意識させ、学んだことのまとめなど、さらに生徒の考えの発表の場面を増やして、意欲を高めていく。
	▲ 「いじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる」という問いに対して「よくあてはまる」「あてはまる」が99.2%から97.6%へ減少している。友人関係、家族関係、進路など様々な要素から不安に感じる生徒が増えている。	■ デイリーライフや様子などから早期に発見し、複数で対応していくことが必要である。どのクラスも担任との関係は良好と思われ、個人懇談などを定期的に行えばよい。
	▲ 「中学生らしい身だしなみを心掛け、ルールやマナーを守っている」という問いに対しては、おおむね守ってはいるが、「あまり当てはまらない」「あてはまらない」が増加している。身だしなみの面で、ややルーズな面が出てきているのかもしれない。	□ 定期的な身なり検査や声掛けなどで意識を高めていきたい。
	○ 「さわやかな挨拶ができている」という問いに対しては「よくあてはまる」「あてはまる」は少し増加傾向がみられる。生徒会をはじめ、様々なグループのが運動のおかげで意識が向上してきていると思われる。	□ 朝の玄関でのあいさつが大きく爽やかになってきた。廊下や教室での挨拶も明るくなってきている。様々な場面で引き続き、挨拶の大切さを伝えていくことが必要である。
	▲ 「学校だよりや通信を家の方に確実に渡している」という問いに対しては、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が増加している。学年をあげるごとにルーズになる項目ではある。	■ 進路関係の書類が増えることもあり、責任感を持たせながら指導していく必要がある。